

ひがし

佐賀大学附属図書館

No.48
Sept 2024

Saga University
Library
Bulletin

目次

CONTENTS

図書館の流れとよどみ	1
図書館月間2023	2
「貴重書に見る昆虫の世界展」開催	2
佐賀県内図書館物流に正式参加	3
「図書館秋の選書まつり」開催	3
貴重書常設企画展示開催	4
図書テーマ別展示	4
大学院生のインターンシップ及び中学生の職場体験学習	4
受入資料紹介	5
人事異動	5
図書館統計	6
歴代館長・副館長	10
図書館の運営体制	10
図書館日誌(行事・会議等)	11
館内マップ、各係の紹介	12
貴重書紹介 小城鍋島文庫に伝来する島原・天草の乱関係文書	



図書館の流れとよどみ

館長 中村 博和

「図書館」というのはいったいなんですか*。批評家の吉本隆明さんが、奄美で図書館長をしていた小説家の島尾敏雄さんとの対談で、こうたずねたそうです。吉本さんが図書館を知らなかったはずはないので、吉本さんに図書館について何か考えがあったうえでの問いだったと想像します。

図書館ですから、図書が収納された建物です。もちろん、大学が建物ではないように、図書館は建物とそこに置かれたモノではありません。図書を閲覧できる場所の提供や資料を探す支援といったサービスもあります。島尾さんが図書館長をしていたときはこれくらいの答えでよかったのではないのでしょうか(島尾さん自身はこれ以上のことをされています)。

しかし、現在の附属図書館は、建物の中を回ってみる、あるいは図書館ホームページをみればわかるように、視聴覚資料があり、それを利用できる設備もあり、さらにひとりで静かに本を読むだけでなく、グループで談話をする場所もあります。そして現在、図書館は建物のなかではなく、インターネット上で利用者を外部の電子的に記録された情報・知識に繋ぐサービスも提供しています。学生・教職員には図書館が提供しているサービスを知り、活用していただきたいと思います。

「図書」、「館」という語は、附属図書館のありようにそぐわなくなってきたように感じられます。情報という語を含む組織の中に図書館の機能を位置づけるべきかもしれません。大学の図書館ですので、学術情報を適切に管理し有効に利用して研究と教育を行っていくために、そのような組織のなかで他の部署と密接に連携していくことが求められているといえます。

では、図書館には情報・知識の流れのハブ、コミュニケーションの場となっていくことだけが必要となっているのでしょうか。個人的な思いになりますが、ひとり人間が、流れのなかで疲れ戸惑い、社会課題ではなく自分の問いを抱えたときに、これまでに人間が考えてきたことが結実したモノとしての多くの書物に囲まれ、ひとりでよどむ場所であることも図書館の存在理由となるのではないのでしょうか。そんな場所はない人も多いでしょう。モノとしての書物は消滅しつつあるのかもしれませんが。それでも、建物と蓄積された図書としての図書館にそのような場所を求めて来館することもおすすめしたいと思います。

*：『吉本隆明全対談集』（青土社）第2巻 「傍系について」

図書館月間2023

附属図書館では、読書週間にあわせ毎年10月末から11月末の期間を図書館月間として、各種イベントを開催しています。令和5年度は、附属図書館本館エントランスホールにて二期に分けて図書館月間展示を開催しました。

一期は、10月20日から11月12日まで、「牧野富太郎の図書展」を開催し、当館で所蔵している牧野富太郎博士の植物図鑑等を紹介し、関連図書も展示しました。

二期は、11月15日から12月10日まで、地域学歴史文化研究センターとの共催で、貴重書コレクション小城鍋島文庫展「小城藩日記の世界」を開催し、藩主の行動や役人の人事、佐賀藩との交渉など藩の公務に関わることがらを記録した「小城藩日記」から描き出される近世小城の歴史の一部を紹介し、関連図書も展示しました。

一期・二期ともに、担当教員による展示解説も実施しました。



「貴重書に見る昆虫の世界展」開催

令和5年9月16日(土)～18日(月)に日本昆虫学会第83回大会が佐賀大学で開催されることに合わせて、県内各施設で昆虫関連のイベントを行う「SAGAむし結び」のイベントが開催されました。コラボ企画として、図書館本館1階で、8月18日(金)～10月1日(日)に所蔵の「市場直次郎コレクション」の中から、昆虫が描かれた貴重書を展示しました。また、学会に参加する関係教員の著書や所蔵の昆虫関連図書、佐賀大学の昆虫に関する研究業績についてもパネル展示を行いました。





また、令和6年2月7日(水)に、佐賀県立図書館主催で県内司書のために開催された「司書のつどい」においても、「SAGAむし結び」のコラボ企画である関係教員の著書を著者のポップとともに展示しました。

佐賀県内図書館物流に正式参加

佐賀県内の公共図書館では、平成22年度から、独自の物流体制を構築し、佐賀県立図書館がその業務委託費用を負担することで相互貸借を行っています。佐賀大学附属図書館が、この物流体制に参加することにより、県内の公共図書館との図書の相互貸借は無償で行うことができるようになり、かつ週に3回の集荷と配送があり、利用者にとっても利便性が向上しています。

「図書館秋の選書まつり」開催

令和元年度までは、毎年夏休みに学生と書店に赴き選書を行う学生選書ツアーを開催していましたが、近年はリクエスト用紙とWebで受け付ける選書を行っており、今年度も同様に10月20日(金)～11月5日(日)に実施しました。

「学生選書コーナー」は貸出数の多いコーナーとなっています。



貴重書常設企画展示開催

所蔵の貴重書「小城鍋島文庫」及び「市場直次郎コレクション」から3か月ごとにテーマを選び、本館貴重書展示エリアで展示しています。今年度は次のテーマで企画展示を行いました。

- ・ 浮世草紙と花
- ・ 佐賀藩と小城藩 - 本家と分家の複雑な関係 -
- ・ 黄表紙と秋
- ・ 小城藩日記にみる佐賀藩の種痘



図書テーマ別展示

季節等に合わせて、昨年度の「図書館利用促進キャンペーン」で学生から募集したポップとともに、1か月ごとにテーマを選び図書の企画展示を行いました。

「本と映画と」「直木賞・芥川賞・歴代本屋大賞受賞作」「新しい学びへ」等のテーマで展示しました。



大学院生のインターンシップ及び 中学生の職場体験学習

9月に、県外の大学院生1名が5日間のインターンシップのため、地元の中学生2名が2日間の職場体験学習のため来館し、図書館業務を行いました。カウンター業務をはじめ、普段は目にしない発注、受入から目録、配架までの裏方の業務一つ一つに取り組みました。大学図書館の業務の多さや作業の大変さを実感でき、また仕事への取り組み方、進め方等について学べ、貴重な経験となったとの感想が寄せられました。

受入資料紹介

学生用図書

令和5年度は、以下のとおり図書を購入しました。

教員推薦図書128冊、学生希望図書104冊、図書館推薦図書857冊、継続購入図書378冊

寄贈図書

(敬称略・順不同)

角田 幸太郎	プロサッカークラブのマネジメント・コントロール・システム：オックスフォード・ユナイテッドFCの事例
宮下 雄治	米中先進事例に学ぶマーケティングDX：基礎知識、戦略から実践まで
後藤 正英	不寛容と格闘する啓蒙哲学者の軌跡：モーゼス・メンデルスゾーンの思想と現代性
山口 誠治	創立60周年記念誌 鳥たちの詩
山口 武夫	むつごろう活動記録誌 ～青春の足跡～ (編集版) CD付 むつごろう活動記録誌 ～青春の足跡～ 原本 saga University Rowing Club
市場 正良	超人ナイチンゲール
小林 博志	英米法・芸術法の研究 行政の実効性確保法制の整備に向けて：統一法典要綱案策定の試み 行政裁量と行政的正義 行政法 自治体事業と公私協働：組織法的観点に基づく公法学的研究 通産省の起源と政府：アメリカ日本研究と関連して
松木 明知	日本の現代麻酔科学の歩み
中尾 友香梨	和学知辺草(わがくしるべぐさ)：翻刻・注釈・現代語訳
武田 充司	ゲディミナス一族の時代＝The era of the Gediminas family ヨーロッパ史の中のリトアニア誕生＝The birth of Lithuania in the European history リトアニアの勃興＝Asciending Lithuania
満岡 聡	続佐賀県在宅療養ガイドブック：佐賀の在宅医療・介護のすべてがわかる本
明石 健五	経済学の冒険：ブックレビュー&ガイド100
矢ヶ部 伸也	がんとともに生きる佐賀 がんとともに生きる佐賀 第二集
楊枝 嗣朗	為替手形発達史 14世紀～18世紀
鈴木 康志	ドイツ語命令・要求表現

人事異動

(令和5年4月2日～令和6年4月1日)

異動区分	発令年月日	氏名	異動後	異動前
定年退職	6.3.31	上原 ひろ美		学術研究部情報図書館課係長 (総務主担当)
併任	6.4.1	中村 博和	附属図書館長	
併任	6.4.1	川口 淳	附属図書館副館長	
命(兼務)	6.4.1	実松 拓磨	学術研究部情報図書館課副課長 学術研究部情報図書館課係長 (医学分館主担当)	学術研究部情報図書館課副課長
配置換	6.4.1	伊東 雄一郎	財務部経理調達課係長(旅費・謝金主担当)	学術研究部情報図書館課係長 (図書管理主担当)
配置換	6.4.1	松永 栄司	学術研究部情報図書館課係長(総務主担当)	総合情報基盤センター係長 (総務主担当)
配置換	6.4.1	中尾 由美子	学術研究部情報図書館課係長 (図書管理主担当)	理工学部係長(総務主担当)
配置換	6.4.1	藤吉 誠	農学部係長(総務主担当)	学術研究部情報図書館課係長 (医学分館主担当)
配置換	6.4.1	園田 浩之	学術研究部情報図書館課主任	医学部経営管理課主任

図書館統計

《令和6(2024)年3月31日現在》

基盤統計

蔵書冊数

(冊)

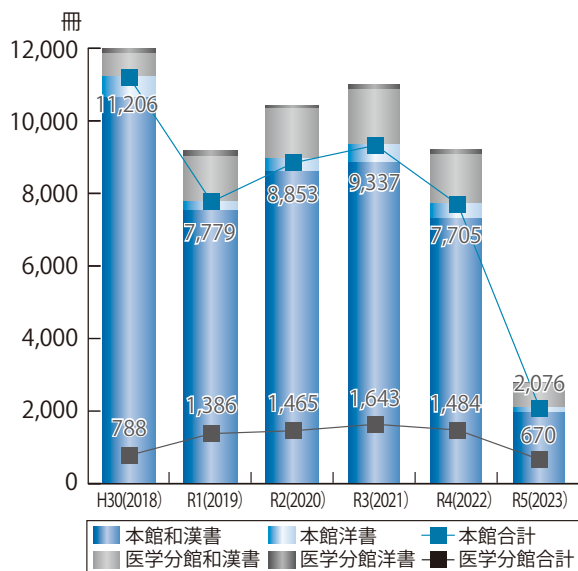
	和漢書	洋書	合計
本館	406,627	66,196	572,823
医学分館	66,315	40,268	106,583
合計	472,942	206,464	679,406

雑誌所蔵種類数

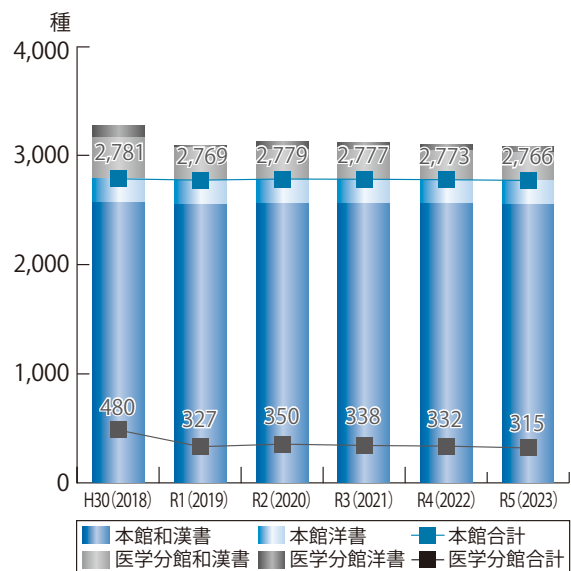
(種)

	和漢書	洋書	合計
本館	6,535	2,975	9,510
医学分館	1,236	1,110	2,346
合計	7,771	4,085	11,856

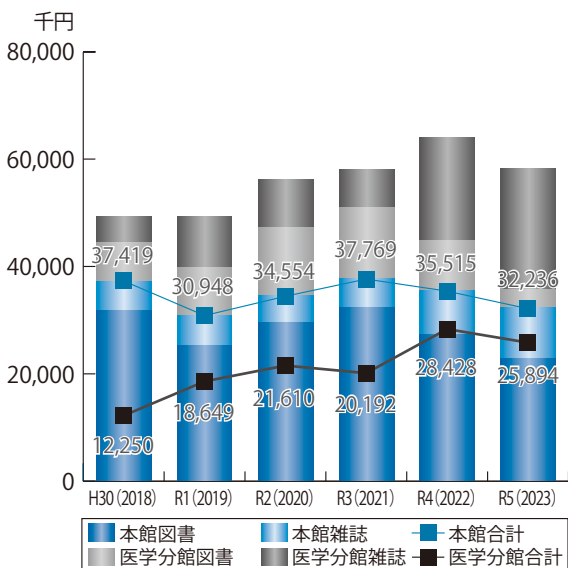
図書受入冊数



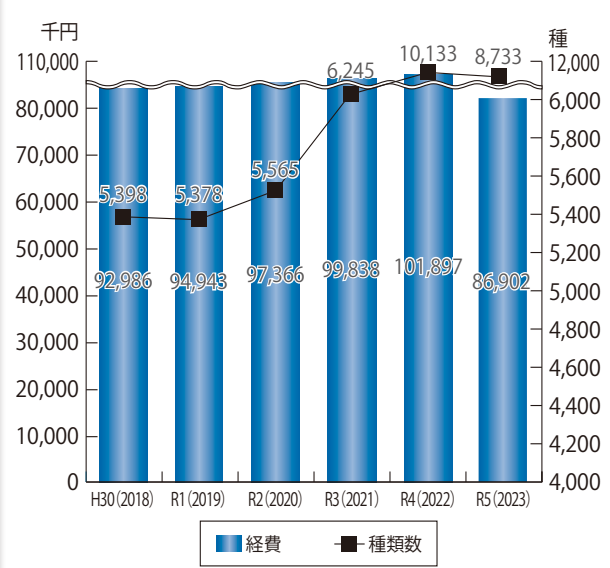
雑誌受入種類数



図書館資料費



電子ジャーナル経費と種類数



サービス統計

開館日数

〈令和5(2023)年度〉(日)

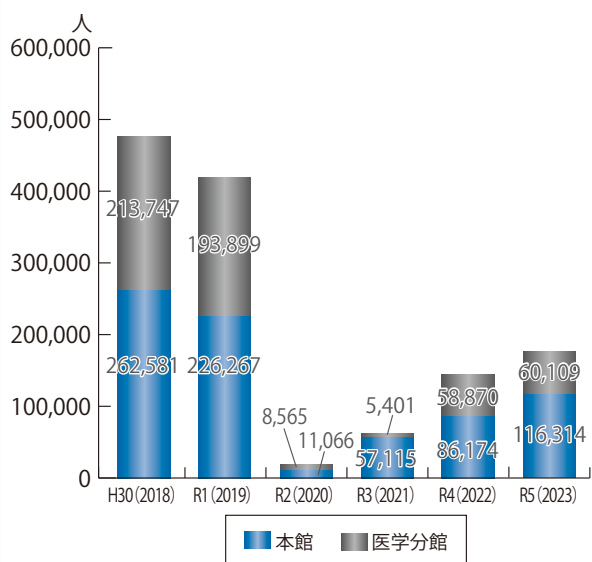
	本館	医学分館
平日	236	239
土・日・祝日	111	116
合計	347	355

利用対象者数

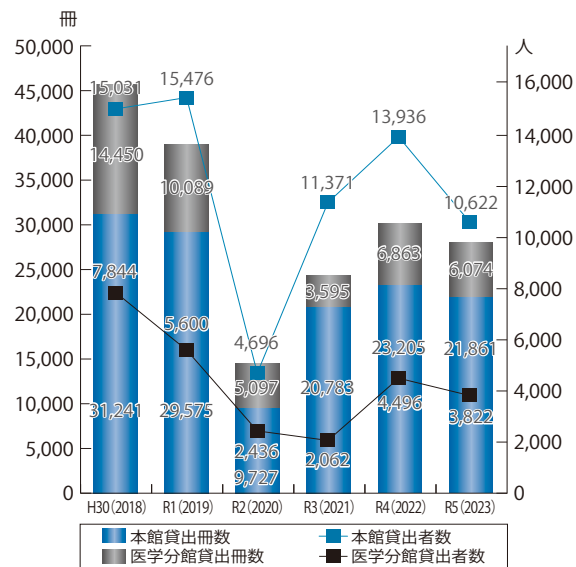
〈令和5(2023)年5月1日現在〉(人)

	合計
学生	6,542
教職員	2,068
合計	8,610

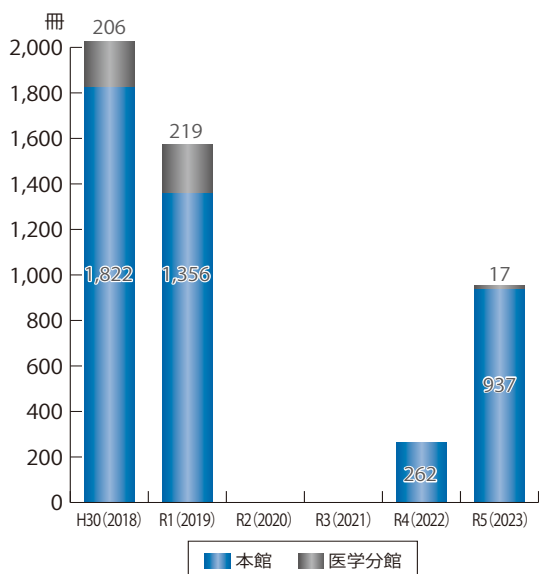
入館者数



貸出冊数と貸出者数

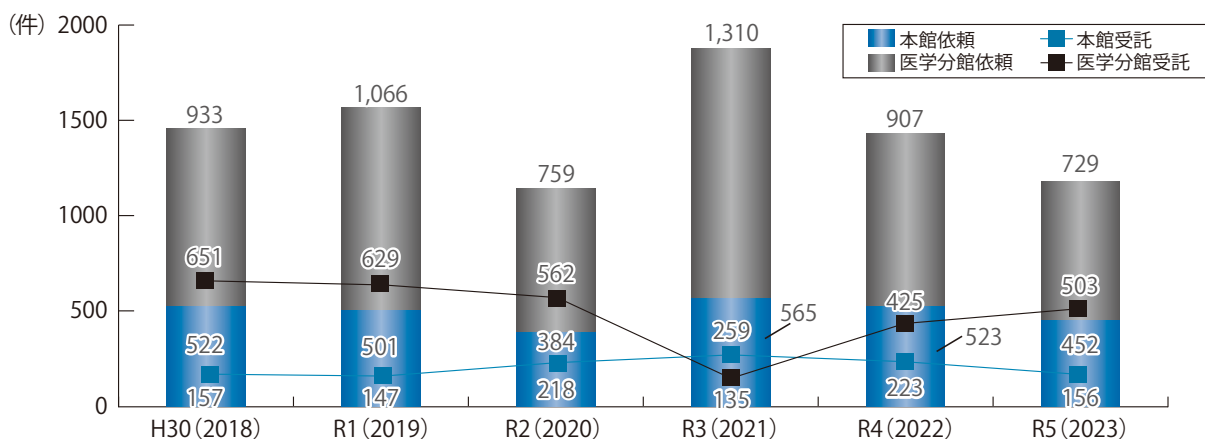


一般市民への貸出冊数

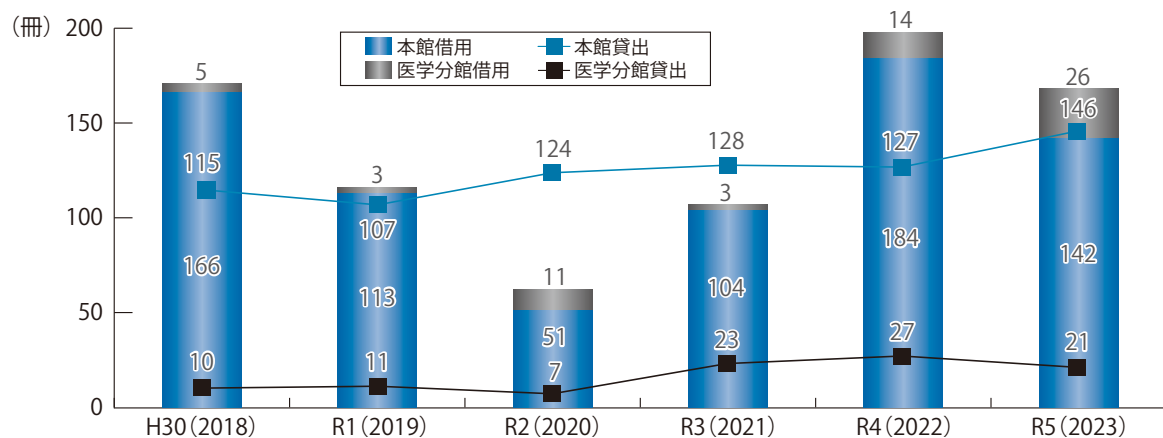


※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年から4年まで利用を制限していた。

文献複写件数



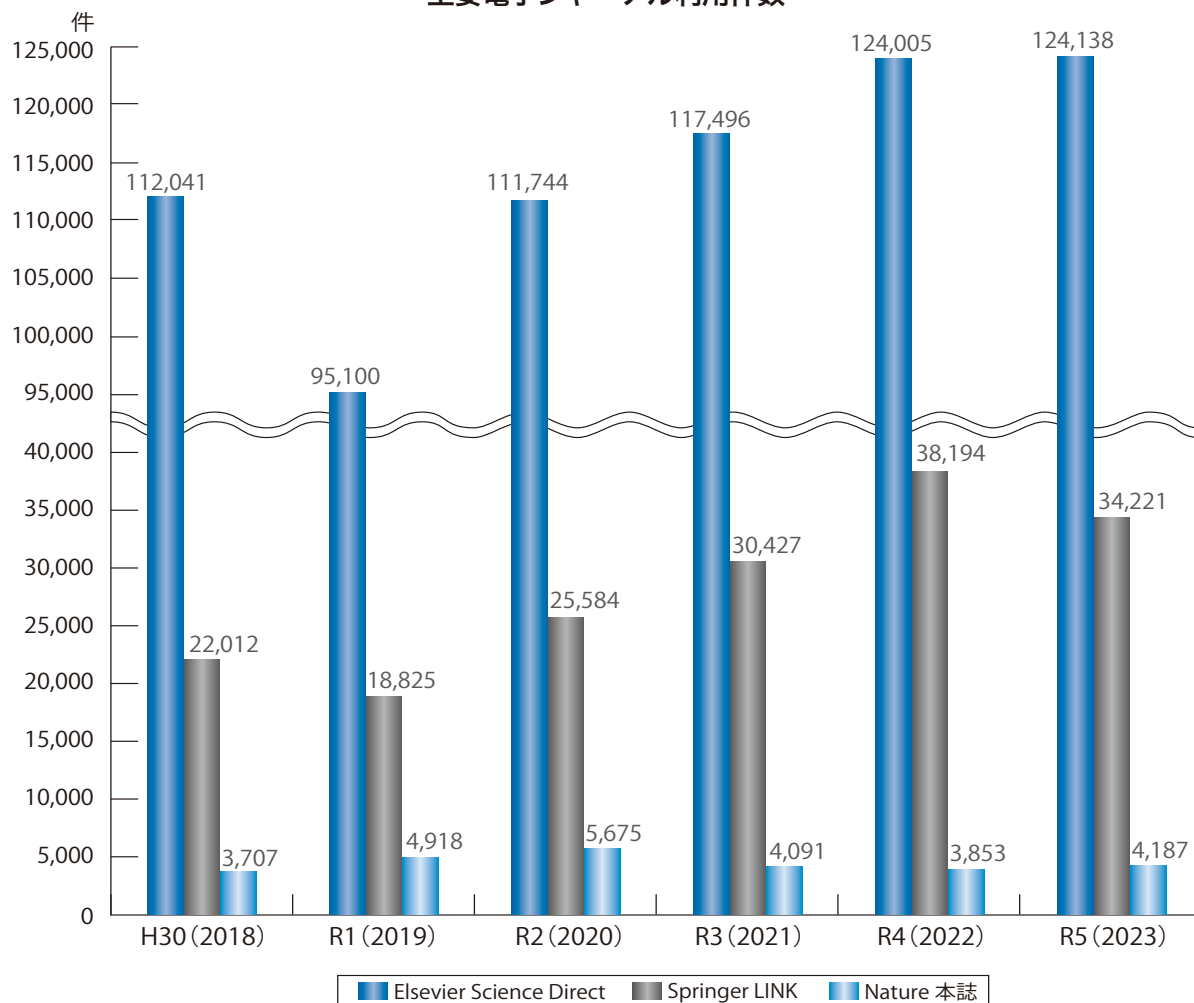
相互貸借冊数



図書館オリエンテーション・講習会

			H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
本館	新入生向け	回数	29	33	0	0	0	23
		人数	1,015	1,023	0	0	0	1,104
	学部生・院生向け	回数	5	7	1	1	1	13
		人数	54	170	10	10	10	162
医学分館	新入生向け	回数	2	2	0	0	2	2
		人数	167	166	0	0	170	163
	学部生・院生向け	回数	3	4	1	2	3	3
		人数	242	311	4	63	163	174
	教職員向け	回数	0	0	0	0	1	1
		人数	0	0	0	0	60	70
本館	参加総数		1,069	1,193	10	10	10	1,266
医学分館	参加総数		409	477	4	63	393	407
参加総数(合計)			1,478	1,670	14	63	403	1,673

主要電子ジャーナル利用件数



文献データベース利用件数

	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
Scopus	10,506 (28,737)	(26,458)	(25,331)	(26,781)	(23,018)	(25,925)
朝日新聞 クロスサーチ	1,720	1,239	412	580	434	813
ヨミダス歴史館	(3,287)	(2,184)	(970)	(1,574)	(1,970)	(7,495)
日経テレコン	(201,356)	(78,241)	(53,382)	(83,587)	(69,987)	(50,850)
日経BP記事検索	(3,931)	(2,393)	(1,766)	(1,727)	(1,235)	(1,153)
ジャパンナレッジ	626 (3,710)	549 (2,966)	807 (5,386)	1,436 (9,111)	585 (3,838)	908 (6,699)
Academic OneFile					648	625
UpToDate	(3,414)	(3,355)	(3,333)	(2,869)	(3,790)	(4,874)
メディカルオンライン	(29,208)	(27,374)	(23,345)	(23,070)	(26,905)	(25,681)
医中誌Web	(61,528)	(63,226)	(36,104)	(47,114)	(43,274)	(37,515)

Academic OneFile R4 (2022)から導入

*括弧内は検索回数または本文利用回数

歴代館長・副館長

歴代館長(統合後) ※平成15年10月1日 佐賀医科大学と統合

氏名	所属部局	期間	年	月
宮島 敬一	経済学部	平15.10.1～ 平16.3.31	0	6
小倉 幸雄	理工学部	平16.4.1～ 平18.3.31	2	0
高崎 洋三	医学部	平18.4.1～ 平20.3.31	2	0
相澤 照明	文化教育学部	平20.4.1～ 平22.3.31	2	0
稲岡 司	農学部	平22.4.1～ 平26.3.31	4	0
富田 義典	経済学部	平26.4.1～ 平28.3.31	2	0
米山 博志	工学系研究科	平28.4.1～ 平30.3.31	2	0
山崎 功	芸術地域デザイン学部	平30.4.1～ 令2.3.31	2	0
大島 一里	農学部	令2.4.1～ 令3.3.31	1	0
石丸 幹二	農学部	令3.4.1～ 令4.3.31	1	0
中里 理子	教育学部	令4.4.1～ 令6.3.31	2	0
中村 博和	経済学部	令6.4.1～		

歴代副館長

氏名	所属部局	期間	年	月
高崎 洋三	医学部	平15.10.1～ 平18.3.31	2	6
武田 淳	農学部	平18.4.1～ 平20.3.31	2	0
徳永 蔵	医学部	平20.4.1～ 平22.3.31	2	0
吉田 裕樹	医学部	平22.4.1～ 平24.3.31	2	0
田中恵太郎	医学部	平24.4.1～ 平26.3.31	2	0
熊本 栄一	医学部	平26.4.1～ 平28.3.31	2	0
宮本比呂志	医学部	平28.4.1～ 平30.3.31	2	0
池田 義孝	医学部	平30.4.1～ 令2.3.31	2	0
城戸 瑞穂	医学部	令2.4.1～ 令4.3.31	2	0
市場 正良	医学部	令4.4.1～ 令6.3.31	2	0
川口 淳	医学部	令6.4.1～		

図書館の運営体制

附属図書館長・副館長

令和6年4月1日現在
 附属図書館長 中村 博和 (経済学部教授)
 附属図書館副館長 川口 淳 (医学部教授)

附属図書館運営委員会

令和6年4月1日現在
 委員長 中村 博和 (附属図書館長)
 委員 川口 淳 (附属図書館副館長)
 堀 良 彰 (総合情報基盤センター長)
 中村 博和 (全学教育機構副機構長)
 山津 幸司 (教育学部 教授)
 重藤 輝行 (芸術地域デザイン学部 教授)
 伊藤 正哉 (経済学部 准教授)
 田中 奈美 (医学部 教授)
 河野 宏明 (理工学部 教授)
 石丸 幹二 (農学部 教授)
 溝口 寛士 (学術研究部長)

附属図書館医学分館運営委員会

令和6年4月1日現在
 委員長 川口 淳 (附属図書館副館長)
 委員 田中 奈美 (医学部 教授)
 藤野 成美 (医学部 教授)
 井原 秀之 (医学部 准教授)
 松本 明子 (医学部 准教授)
 高野 吾朗 (医学部 准教授)
 小池 春樹 (医学部 教授)
 石川 慎一郎 (附属病院 准教授)

図書館日誌(行事・会議等)

令和5年

- 4月21日 令和5年度九州地区国立大学図書館協会総会(佐賀大学 オンライン)
- 5月24日 令和5年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会(福岡教育大学 書面会議)
- 5月26日 令和5年度第1回附属図書館運営委員会(オンライン)
- 6月22日 第70回国立大学図書館協会総会(東京工業大学 ハイブリッド)
～23日
- 7月18日 令和5年度第2回附属図書館運営委員会(書面会議)
- 6月30日 第74回九州地区大学図書館協議会総会(佐賀大学 オンライン)
- 7月31日 令和5年度第1回医学分館運営委員会
- 8月30日 令和5年度佐賀県大学図書館協議会総会(西九州短期大学部 ハイブリッド)
- 9月21日 令和5年度第3回附属図書館運営委員会(オンライン)
- 10月13日 令和5年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議(佐賀大学)
- 10月20日 図書館月間2023(牧野富太郎の図書展・小城藩日記の世界)
～12月10日
- 10月27日 第71回九州地区医学図書館協議会総会(佐賀大学 ハイブリッド)
- 11月16日 令和5年度九州地区医学図書館員セミナー(オンライン)
- 11月20日 令和5年度第1回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会(西九州大学短期大学部)
- 12月11日 令和5年度九州地区国立大学附属図書館館長事務(部・課)長会議(九州大学 ハイブリッド)

令和6年

- 2月 7日 第4回司書のつどい(ホテルニューオータニ佐賀 対面)
- 2月20日 令和5年度第2回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会(聖マリア学院大学)
- 2月22日 令和5年度第4回附属図書館運営委員会(書面会議)
- 3月15日 令和5年度第5回附属図書館運営委員会(書面会議)
- 3月19日 令和5年度第2回附属図書館医学分館運営委員会(書面会議)

館内マップ、各係の紹介

◆総務主担当

図書館運営のための総務全般を担当しています。

【業務内容】

- (1) 各種会議及び諸行事
- (2) 図書館所管の規程等の整備及び法人文書管理
- (3) 物品、資産の管理及び建物、設備の維持管理
- (4) 調査、統計、広報及び諸報告
- (5) 図書館の広報
- (6) 予算の管理並びに決算
- (7) 勤怠管理

◆図書管理主担当

図書や雑誌が館内に配架されるまでを担当しています。また、電子ジャーナルも契約しています。

【業務内容】

- (1) 図書館資料(電子資料を含む)の収集、選択及び受入
- (2) 図書の除籍、除却
- (3) 図書館資料(電子資料を含む)の目録編成、管理
- (4) 図書館資料費の予算管理

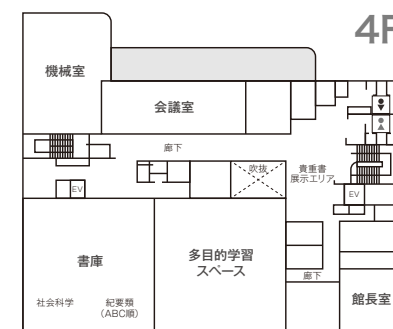
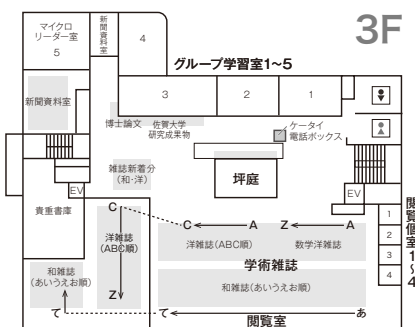
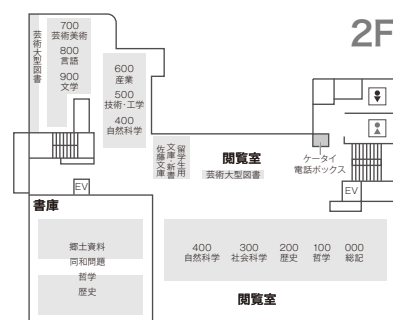
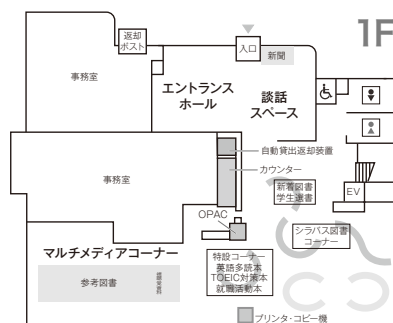
◆学術情報主担当

図書館の利用全般を担当しています。カウンターなどで利用者みなさんと接する機会の多いスタッフです。

【業務内容】

- (1) 図書館資料(電子資料を含む)の閲覧、貸出及び管理、保全
- (2) 閲覧室及び書庫等の管理及び保全
- (3) 図書館及び図書館資料(電子資料を含む)の利用支援
- (4) 文献複写、図書の相互利用
- (5) 機関リポジトリの構築、運用
- (6) 貴重書の保存、活用
- (7) 図書館システムの保守、管理及び運用

本館



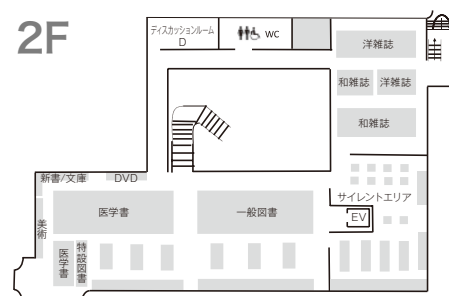
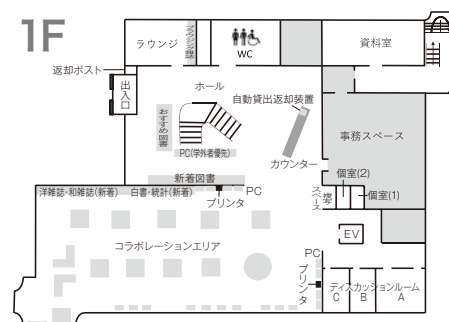
◆医学分館主担当

医学部にある医学分館を担当しています。

【業務内容】

- (1) 図書館資料(電子資料を含む)の閲覧、貸出及び管理、保全
- (2) 閲覧室及び書庫等の管理及び保全
- (3) 図書館及び図書館資料(電子資料を含む)の利用支援
- (4) 文献複写、図書の相互利用
- (5) 図書館資料(電子資料を含む)の収集、選択及び受入
- (6) 図書館資料(電子資料を含む)の目録編成、管理

医学分館



貴重書紹介

小城鍋島文庫に伝来する島原・天草の乱関係文書

解説

本館所蔵小城鍋島文庫には、寛永14年(1637)10月に発生した島原・天草の乱にかんする文書が多数伝存している。肥前国島原と肥後国天草で一揆を起こした農民たちは、島原半島南部の原城に立て籠もった。幕府は近隣諸大名に出兵を命じ、佐賀藩も従った。

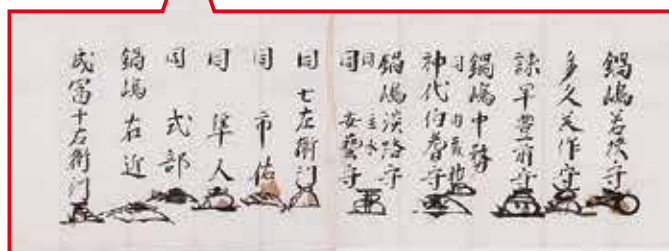
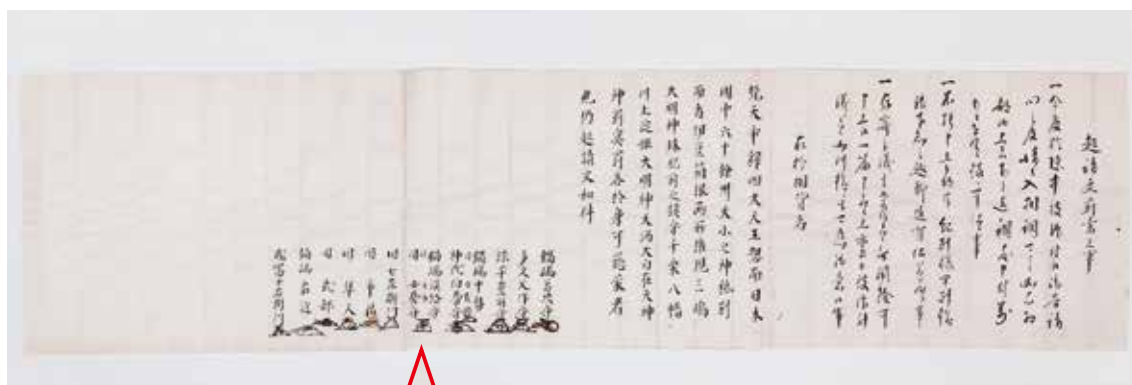
当時佐賀藩主鍋島勝茂は江戸に滞在中で、出兵のための帰国を幕府へ願い出たが許されず、勝茂の長男元茂(小城鍋島文庫が伝来した、小城鍋島家の初代当主)と五男直澄が江戸から佐賀へ戻り、兵を率いることになった。総大将は直澄、元茂は搦口の大將となった。年齢は元茂が上だが、直澄は勝茂の正妻の子であったのに対し、元茂の母は身分の低い女性だったためともいわれる。

翌寛永15年(1638)正月元旦、上使(幕府が派遣した司令官)板倉重昌は原城に総攻撃をかけたが失敗し、重昌が戦死するという深刻な事態に陥った。その後老中松平信綱の指揮のもと、幕府軍は持久戦を採用し、2月27、28日の総攻撃により、原城は落城した。

写真の史料は、佐賀藩の重臣たちが提出した起請文(誓約書)である。日付・宛先はないが、寛永14年12月22日に陣中で作成されており、宛先は元茂と直澄だろう。このたびの戦陣において命じられた普請(城攻めのため、さまざまな土木・建築工事が行われた)を精一杯行うこと、元茂と直澄の命には決して背かないこと、意見があれば遠慮無く上申するが、そのうえでの命令には必ず従うことを誓約している。作成者は龍造寺家の流れをくむ鍋島若狭守・多久美作守・諫早豊前守・鍋島中務をはじめ、佐賀藩の重臣15人である。重臣たちは署名・花押(サイン)のほか血判を押し、戦場において元茂・直澄に忠誠を尽くすことを誓っている。

(地域学歴史文化研究センター 伊藤 昭弘)

参考文献：宮島敬一編『小城鍋島文庫に見る小城鍋島藩と島原の乱』2004年8月、佐賀大学文系基礎学研究プロジェクト



佐賀藩重臣15人の署名、花押(サイン)、血判